

# 東京国立博物館 スクールプログラム



TOKYO NATIONAL MUSEUM 2008.4-2009.3

東京国立博物館スクールプログラムは、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒のみなさんが日本と東洋の伝統文化に触れ、歴史を学び、美術を鑑賞するための手助けとなるプログラムです。博物館をよく知るためのプログラムも用意しました。

展示室で「ほんもの」と向き合う体験が、より新鮮に、より深いものになるように工夫されています。博物館ならではの学習の醍醐味を感じていただけるはずです。

図工・美術・歴史の授業だけでなく、総合的な学習の時間、キャリア学習、修学旅行時のグループ学習、クラブ活動などに活用してください。

プログラム実施は火～金の平日 10:00～17:00の間



重文「色絵月梅図茶壺」  
仁清 江戸時代



国宝「平治物語絵巻(六波羅行幸巻)」(部分) 鎌倉時代



東京国立博物館・本館

## 東京国立博物館とは？

- ◆ 明治5年(1872)日本で最初にできた博物館です。
- ◆ 収蔵品の数は11万件以上、国宝87件、重要文化財616件を含む質・量ともに日本一のコレクションを誇ります(件数は2008年3月現在)。
- ◆ 日本とアジアの絵画、彫刻、工芸、考古遺物などを常時2000～3000件展示しています。日本とアジアの伝統文化に触れることができる博物館です。
- ◆ 展示館は全部で5つ。本館(日本ギャラリー)、東洋館(アジアギャラリー)、平成館(日本の考古、特別展)、法隆寺宝物館(法隆寺献納宝物)表慶館。すべてをまわるには一日あっても足りません。見学のポイントを絞ってお出かけください。
- ◆ 見学には、最低でも60分は必要です。

【開館時間】 9:30～17:00(入館は16:30まで)

原則として4月から12月まで(2008年は3月28日(金)～11月14日(金)まで)の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館します。原則として4月から9月まで(2008年は3月29日(土)～9月28日(日)まで)の土曜・日曜・祝日・振替休日は18:00まで開館します。入館は閉館の30分前まで

【休館日】 月曜日(ただし月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日に休館)年末年始(12月28日～1月1日)

ゴールデンウィーク期間とお盆期間中(8月13日～8月15日)は、原則として無休(2008年4月28日(月)および5月5日(月・祝)はゴールデンウィーク期間のため開館し、2008年5月7日(水)は休館いたします。2008年6月24日(火)は設備保守点検のため臨時休館いたします。2008年8月11日(月)は、お盆期間中のため開館いたします。

【観覧料金】 一般600円(500円)、大学生400円(300円)( )内は20名以上の団体料金

東京国立博物館の最高の収蔵品を中心に構成された平常展が、**高校生以下は無料**でご覧いただけます。また、**学校の教育活動で来館された場合、先生方も無料**となります。学校での来館のための**先生による下見も無料**です。その旨、正門でお申出ください(ただし、特別展に関しては別途観覧料が必要となります)。

# レクチャールームでのプログラム

作品などの画像を見ながら話をします

## 博物館の概要と見学当日の見どころ案内

### A はじめての東博

所要時間:20分 参加人数:380名まで

会場:表慶館、本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:小学生・中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 30分

\* 必要滞在時間 90分以上

はじめて東京国立博物館に来館される生徒のためのガイドンです。博物館の役割と東京国立博物館の歴史、基本的な見学のマナーについて、さらに構内の5つの展示館の概要を、その日に見られる主な展示作品の情報を交えてお話しします。

☞ 展示を見学するためのガイドンです。必ず見学時間を60分以上確保してください。

☞ 学校の授業の進捗に合わせて、特に強調してもらいたい時代やジャンル、テーマなどございましたら、お申出ください。

## 鑑賞入門シリーズ

### B はじめての仏像

所要時間:20分 参加人数:380名まで

会場:表慶館、本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 30分

\* 必要滞在時間 90分以上

如来、菩薩など仏像には種類があり、それぞれ役割や特徴があることなど、仏像鑑賞の基礎を東博の収蔵品を中心に、画像を使って解説します。

☞ 展示室で仏像を鑑賞することを前提としたガイドンです。展示室での見学時間を60分以上確保してください。

☞ 関西方面に修学旅行を予定されている場合の事前学習にも最適です。



### C はじめての浮世絵

所要時間:20分 参加人数:380名まで

会場:表慶館、本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 30分

\* 必要滞在時間 90分以上

浮世絵版画鑑賞の基礎をお話しします。

刷り工程見本や展示作品の画像を使って、浮世絵版画の技法や鑑賞のポイントを解説します。

☞ 展示室での浮世絵の鑑賞を前提としたガイドンです。展示室での見学時間を60分以上確保してください。

☞ スタンプを使って写楽の大首絵を完成させる簡単なアクティビティの体験もできます。(アクティビティの所要時間:1人につき5分程度)

### D はじめての考古

所要時間:20分 参加人数:380名まで

会場:表慶館、本館20室、平成館大講堂、小講堂

対象:小学生・中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 30分

\* 必要滞在時間 90分以上

平成館考古展示室の見学ガイドンです。

縄文時代から古墳時代まで。土偶、縄文土器、弥生土器、銅鐸、埴輪、鉄器など、古代日本の考古遺物の見どころをガイドします。

☞ 展示室での日本考古の鑑賞を前提としたガイドンです。展示室での見学時間を60分以上確保してください。



a-1(部分)



a-2



a-3(部分)



a-4(部分)



a-9(部分)



b-1(部分)



b-2(部分)



## 展示室でのプログラム

作品を見ながら話をします

### 博物館の仕事を知るプログラム

#### A 展示室で探る博物館のお仕事

所要時間:30分 参加人数:10名まで

会場:本館展示室

対象:中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 35分

\* 必要滞在時間 90分以上

温湿度管理、照明、展示ケース、免震台など、博物館の展示室では文化財保護のためにどんな配慮がされているのか？

作品の配置、作品のバックの色、解説パネルの大きさ、設置位置など、お客様が気持ちよく鑑賞するためのノウハウは？

通常の展示鑑賞では気がつかない展示の裏側について、展示室を巡りながら解説します。

### 作品鑑賞プログラム

#### B じっくり見る東博

所要時間:30分

参加人数:1グループ6名まで(3グループ 計18名まで)

会場:本館等展示室

対象:小学生・中学生・高校生

(ただし、取り上げるジャンル、作品によって対象学年が異なります)



\* 集合から解散までの必要時間 35分

\* 必要滞在時間 90分以上

博物館研究員と一緒に、展示室でほんものの作品を鑑賞するプログラムです。

生徒たちの興味・関心を引き出しながら、ひとつ(あるいは1テーマ)の作品にじっくり迫る対話形式のプログラムです。作品へのアプローチの方法を学んでいただけます。

下記の一覧から好きなジャンル/作品を選ぶことができます。

#### ジャンルで選ぶ

①考古(土偶、銅鐸、埴輪など) ②仏像

③浮世絵



#### 名品から選ぶ

##### a 絵画

a-1 国宝「花下遊楽図屏風」 狩野長信筆 安土桃山～江戸時代(3月25日～4月20日・2009年3月17日～4月12日)

a-2 国宝「鷹見泉石像」 渡辺崋山筆 江戸時代(4月22日～6月1日)

a-3 国宝「華嚴宗祖師絵伝(元晚絵)」 鎌倉時代 京都・高山寺蔵(6月3日～7月6日)

a-4 国宝「平治物語絵巻(六波羅行幸巻)」 鎌倉時代(8月5日～9月15日)

a-5 国宝「納涼図屏風」 久隅守景筆 江戸時代(8月26日～9月5日)

a-6 重文「四季山水図屏風」 伝周文筆 室町時代(9月30日～11月9日)

a-7 国宝「観楓図屏風」 狩野秀頼筆 室町時代(10月28日～11月24日)

a-8 国宝「一遍上人絵伝」 鎌倉時代(11月26日～2009年1月4日)

a-9 国宝「鳥獣人物戯画巻(丁巻)」 鎌倉時代 京都・高山寺蔵(2009年1月6日～2月1日)

##### b 書跡

b-1 国宝「法華経方便品(竹生鳥経)」 平安時代(4月22日～6月1日)

b-2 国宝「風信帖」 空海筆 平安時代 京都・教王護国寺蔵(7月8日～8月3日)

##### c 工芸品

c-1 「大井戸茶碗 銘 有楽」 李朝時代(4月1日～7月27日・11月18日～2009年3月8日)

c-2 重文「色絵月梅園茶壺」 仁清 江戸時代(7月1日～9月28日・10月21日～2009年1月18日)

c-3 重文「縫箱 紅白段短冊八橋雪持柳模様」 安土桃山時代(9月23日～11月9日)

c-4 「竹一重切花入 銘 園城寺」 千利休 安土桃山時代(11月18日～2009年3月8日)

c-5 国宝「片輪車蒔絵螺細手箱」 平安時代(12月23日～2009年3月22日)

( )内は展示予定期間

展示期間は変更することもあります。詳細は、東京国立博物館ホームページ「名品ギャラリー」 「展示」>>年間の特別展・平常展」でご覧ください。



a-5(部分)



a-6(部分)



a-7(部分)



a-8(部分)



c-1



c-2



c-3



c-4



c-5

## ワークショップ

体験型のプログラムです

作品の取り扱いやものづくりを通して、日本と東洋の伝統文化に触れる体験型プログラムです。展示室でのほんものとの出会いが、新しい創作の契機となり、ワークショップの体験が展示室での鑑賞を深めることを目指しています。

### 通年で実施するプログラム

#### A 絵巻・掛軸の取り扱い体験

所要時間: 60分～120分 参加人数: 20名まで

会場: 表慶館、本館20室、小講堂ほか

対象: 中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 70分～120分

\* 必要滞在時間 120分以上

日本の伝統的な絵画様式に絵巻物と掛軸がありますが、実際に扱った経験のある生徒は少ないはず。絵巻を自分で広げ、巻き取りながら見ると、物語の流れる様が実感できるでしょう。掛軸を壁にかけて見ると、どんなふうに使われていたのかよくわかるはず。日本文化の伝統様式に触れるとともに、取り扱い講習を通じて文化財を大切に扱うことを学び、文化財保護の意義を理解するためのプログラムです。



#### B 絵巻の取り扱いと絵巻作り

所要時間: 180分以上 参加人数: 20名まで

会場: 表慶館、本館20室、小講堂ほか

対象: 中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 180分

\* 必要滞在時間 180分以上

絵巻の取り扱い体験をしたあとに、オリジナル絵巻をつくるプログラムです。4名のグループでひとつの絵巻を完成させます。横長の画面構成

と物語を展開させるための工夫など、絵巻独自の表現様式を理解すると同時に、共同作業の難しさ、楽しさを学びます。



#### C 鏡の拓本をとってみよう

所要時間: 120分以上 参加人数: 10名まで

会場: 表慶館、本館20室、小講堂ほか

対象: 小学生・中学生

\* 集合から解散までの必要時間 120分

\* 必要滞在時間 120分以上

絵や文字をそっくりそのまま写し取る拓本。江戸時代の鏡を使って、本格的な湿拓体験を行います。



## 期間限定プログラム

### D 貝合せをつくってみよう

7月23日(水)~10月17日(金)

所要時間:120分以上 参加人数:25名まで

会場:表慶館、本館20室、小講堂ほか

対象:小学生・中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 120分

\* 必要滞在時間 120分以上

江戸時代の婚礼調度のひとつ、貝合せの展示に合せたワークショップです。貝合せを鑑賞したのち、本館の展示作品から日本の伝統的なモチーフを探し、自分だけのオリジナル貝合せをデザインします。直径5~8センチの大きなハマグリ貝に、顔料系のサインペンや、千代紙、ラメなどを使って絵付けをし、オリジナル貝合せを完成させます。貝合せ作りをきっかけに、日本の古美術に親しむためのプログラムです。



Program  
4

## キャリア学習のためのプログラム

### A 博物館の裏側インタビュー

所要時間:20分 参加人数:20名まで

会場:表慶館、本館20室、小講堂ほか

対象:小学校高学年・中学生・高校生

\* 集合から解散までの必要時間 30分

\* 必要滞在時間 90分以上

博物館の仕事や運営について博物館研究員がインタビューを受けます。キャリア学習にお役立てください。



### 就業体験の受け入れも実施しています

学校教育活動の一環として実施される就業体験の受け入れをいたします。

当館の生涯学習ボランティアとともに、お客様案内、館内配布パンフレットの印刷、簡単な体験コーナーの運営の補助などを体験できます。

キャリア学習にお役立てください。



### [ 受け入れのガイドライン ]

活動日時:火曜~金曜の平日 10:00~17:00  
(ただし、盆、年末・年始期間は実施できません)

活動期間:5日間まで

受け入れ人数:1日につき4名程度

申込方法:実施日の6ヶ月前より受け付け、先着順

就業体験に関しては、別途詳細案内を用意しております。お問合せ、お申込は当館教育普及課ボランティア室まで  
TEL(03)3822-1111(代表)





# スクールプログラムの活用

博物館での体験をより思い出深いものにするために、事前学習をおすすめします。また、博物館で学んだことは、博物館の中だけでなく学校に帰ってからも活用できます。博物館に来たことをきっかけに、子どもたちの世界が広がることが私たちの願いです。

## 学校での事前学習

### ホームページで博物館のことを調べてみよう

対象教科:小・中「総合的な学習」、中「技術」

博物館に行けば何を見られるの？収蔵品はいくつあるの？博物館の歴史は？こういったことは、全て東博ホームページに載っています。たくさんの作品画像も見られます。また、「児童・生徒のみなさんへ」のコーナーでは、児童・生徒向けの情報や館からのメッセージが掲載されています。

東京国立博物館ホームページURL <http://www.tnm.jp>

\*ホームページ活用方法

- 今日の博物館 → カレンダーで見学の予定日をクリックすれば、その日見られる展示作品のリストが見られます。
- 名品ギャラリー → 館蔵品の画像とデータを地域・時代・世紀・分野など様々な条件から検索できます。
- 館の歴史 → 東京国立博物館の歴史が興味深い図版や写真とともに紹介されています。
- 組織・概要 → 東京国立博物館の組織図や収蔵品、入場者数のデータが見られます。

平常展示は頻繁に展示替えを行っています。来館当日に目的の作品が見られるか、事前に確認してください。

### 見学のマナーを確認しよう

- 1 ゆっくり、静かに
- 2 さわらない
- 3 メモはえんぴつで
- 4 写真のルールを確認しよう
- 5 飲食は決められたところで

公共施設でのマナーを学ぶ格好の機会です。当館ホームページの「児童・生徒のみなさんへ」のコーナーにも見学のマナーが掲載されているので、子どもたちに事前に確認させましょう。

## 博物館での学習

### 日本美術を見てみよう

対象教科:中2-3「美術」「日本史B」、高「美術」

東博には、縄文時代から近代までの、さまざまな分野の文化財が展示されています。これらを鑑賞することによって、日本の美術・文化・伝統に対する理解が深まり、それらを後世に伝えていくことの重要性について考えることができます。

### 日本とアジアを比べてみよう

対象教科:小6「社会」、中2-3「美術」、高「世界史」

本館の日本美術と東洋館のアジア美術を比較して見てみましょう。仏像の姿かたちは地域によって異なること、あるいは影響関係があることなどに気づくでしょう。異文化交流の軌跡をたどることで、日本のみならず諸外国の文化や伝統を尊重する態度が養われ、国際理解にもつながります。

### お気に入りの作品について語ろう

対象教科:小・中・高「国語」、小「図工」、中・高「美術」

作品のどこが気に入ったのか、もしもそれが自分のものになったなら、どこに飾るか、どんなふうにするかなど友人に語ることで、鑑賞を深めると同時に想像力を育み、豊かな表現力を身につけることができます。

## 学校での事後学習

### 作品がどのように作られたのか調べてみよう

対象教科:小3-6「図工」、小6「社会」「国語」

絵巻ってどんなしくみなの？仏像はどうやって作るの？何でできているの？など、作品を見ているとたくさんの疑問が生まれます。作品の材料や技法などについて調べ、学校でも実際に制作してみましょう。

### 例えば

博物館に行った思い出を、絵巻風に描いてみる。(指導要領との関わり:美術文化の継承と創造、文章の組み立て) 伎楽面、根付などを作る。(指導要領との関わり:立体的な表現、日本文化の国際的な要素の理解、町人文化の理解)

### 展覧会を作ってみよう

対象教科:小3-6「図工」「国語」「社会」「生活科」、小・中「総合的な学習」

生徒たちが学芸員となって、図工・美術の時間に制作した作品の展覧会を企画します。東博の展示を参考に展示全体のテーマ、会場構成、展示デザインを考えたり、作家(友だち)へのインタビューを元に文章を組み立てたり(作品解説)、クラスの皆の前で作品解説のスピーチを行ってもよいでしょう。授業で行うほか、校内展や文化祭などでも活用できます。また、自分たちで実際に展示を行うことによって公共施設を支える人々の仕事を理解することにもつながります。

### 博物館の思い出をカルタにしてみよう

対象教科:小・中・高「国語」、小「図工」、中・高「美術」「総合的な学習」

博物館で見たこと、聞いたこと、考えたことをカルタにしてみましょう。七五調の文章を作れば、日本の伝統的な国語表現の体験にもなり、言語感覚が豊かになります。博物館で見た景色や気に入った作品を描けば、自分たちだけの「東博カルタ」の完成です。カルタで遊びながら、友達の作品をよく見てみましょう。

博物館に行く前に生徒それぞれに字を割り当てておくと、よりスムーズに進みます。

## よくある質問

Q スクールプログラムの参加費はいくらですか？

A 原則として、無料です。

Q スクールプログラムの受講に引率は必要ですか？

A プログラム実行中は講師および補助のスタッフがつきますので、特に心配のない場合は先生がついていなくても大丈夫です。ただしプログラム前・終了後の責任は負いかねますので、ご了承ください。

Q プログラムの実施内容や見学について相談にのってもらえますか？

A 提示されたコース以外にご希望がある場合、下見や事前の打ち合わせを希望する場合、その他スクールプログラムに関する問合せは、東京国立博物館教育普及室 TEL:03-3822-1111・代表/e-mail:edu@tnm.jp) で受け付けています。

Q 館内で食事はとれますか？

A お弁当の場合、表慶館「みどりのライオン」内(2008年度は4月～5月末のみ、教育普及室に要事前申込)もしくは平成館ラウンジ(申込不要)をご利用いただけます。

東洋館1階「レストラン ラコール」が、法隆寺宝物館1階「ホテルオークラ ガーデンテラス」の利用も可能です(予算:1000円～)。ただし、特別展開催期間中などは混雑が予想されます。

Q 教科書に載っている作品はいつも見られますか？

A 平常展示は頻繁に展示替えを行っています。目的の作品がいつも見られるとは限りません。あらかじめ当館ホームページで調べてからご来館ください。

Q 大型バスで行くことはできますか？

A 学校の団体が越しの際、当館敷地内に駐車できます。事前に当館渉外課までご相談ください。(TEL:03-3822-1111・代表)

Q 観覧料金は？

A 小・中・高校生および引率する教員の入館は無料です(特別展を除く)。特別展については、各特別展ごとに別途料金が定められていますので、当館ホームページなどでご確認ください。教育活動で先生が下見されるための入館は無料です(特別展を除く)。

Q 団体での見学は、予約が必要ですか？

A 見学に際して特に予約は必要ありませんが、会場内での混雑を避けるために、来館時間についてアドバイスさせていただくこともありますので、あらかじめ渉外課までご相談ください。

スクールプログラムを受講される場合は、予約が必要です。かならず教育普及室に連絡してください。

## スクールプログラム 来館までの手続き

1

電話連絡

学校名、来館希望日、時間、人数、学習内容、連絡先、担当の先生などを電話にてお知らせください。博物館をどのように利用したいか、お聞かせください。おすすめのプログラムの提案をさせていただきます。また、すでにお決まりの場合は、実施できるかどうか、スケジュールの確認をします。

2

書類の提出

来館の2週間前までに、スクールプログラム申込書をFAXしてください(巻末の書式をコピーしてご利用ください)。

3

博物館から確認の連絡

教育普及室より、当日の入館方法、集合場所などの連絡を行います。学校での事前学習の内容、研究員への質問や、生徒の興味などをお聞かせいただくと、当日、より細かな対応ができます。

4

「参加証」受け取り

スクールプログラムの参加証をFAXでお送りします。集合場所、集合時間など、ご確認の上、当日ご持参ください。

5

当日

当日の欠席、人数変更、到着の遅延などございましたら、お知らせください。来館の際、参加証をご持参ください。

6

後日

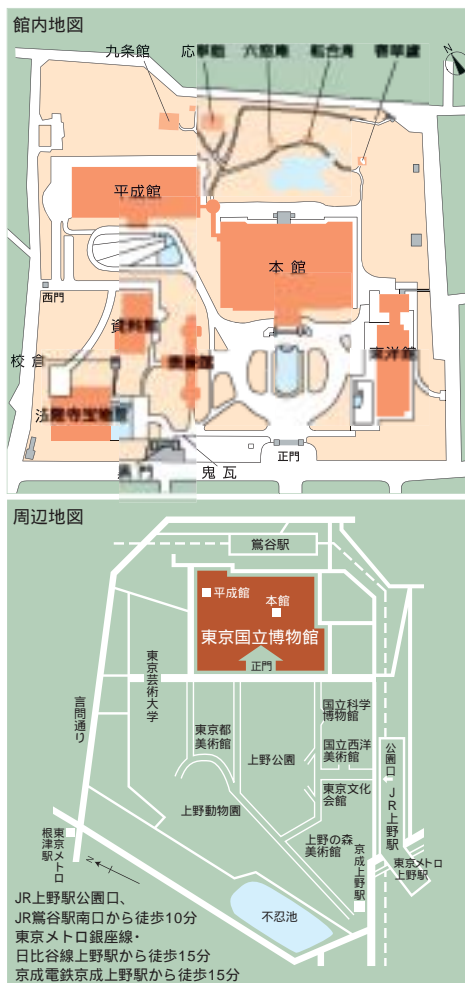
博物館やスクールプログラムに関するご意見、ご感想などがありましたら、ぜひお聞かせください。今後のプログラムの参考にさせていただきます。

お問合せ先

展示・開館時間などのお問合せ ハローダイヤル (03)6777-8600

見学の相談、スクールプログラムの申込 東京国立博物館教育普及室 (03)3822-1111(代表)またはe-mail:edu@tnm.jp

団体見学申込、大型バスの駐車について 東京国立博物館渉外課 (03)3822-1111(代表)



# 東京国立博物館スクールプログラム申込書

東京国立博物館 教育普及室 御中

年 月 日

TEL:(03)3822-1111(代表) FAX:(03)3822-3010

来館日時	月	日	曜日	入館時間	時	分
				退館時間	時	分
火～金の平日、10:00～17:00の間				プログラム開始時間	時	分
(ふりがな) 学校名						学年
(ふりがな) 先生の名前						
(ふりがな) 代表生徒名 *引率がない場合必須						
学校の住所 (〒 - )						
電話番号			FAX番号			
人数:	生徒	名	引率教員	名	その他	名
			合計			名
スクールプログラムの参加の目的			1 遠足・社会科見学	2 修学旅行	3 各教科の学習(科目:	)
			4 総合的な学習の時間	5 その他(	)	
<b>スクールプログラムコース</b>						
<b>1 レクチャールームでのプログラム</b>						
A はじめての東博		B はじめての仏像		C はじめての浮世絵		
D はじめての考古						
<b>2 展示室でのプログラム</b>						
A 展示室で探る博物館のお仕事			B じっくり見る東博 (下記から希望のジャンル等を選んでください。「名品から選ぶ」の場合は作品番号をご記入ください) 考古 / 仏像 / 浮世絵 / 名品から選ぶ			
<b>3 ワークショップ</b>						
A 絵巻・掛軸の取り扱い体験			B 絵巻の取り扱いと絵巻作り			
C 鏡の拓本をとってみよう			D 貝合せをつくってみよう(7月23日～10月17日のみ)			
<b>4 キャリア学習のためのプログラム</b>						
A 博物館の裏側インタビュー			*就業体験のご希望は、別紙をご利用ください。			
ご希望:	バスの駐車場(台)		荷物置き場		お弁当の場所	
	事前下見	月 日 時 分～			その他( )	

\*各プログラムに参加されるための必要滞在時間を満たしているか、ご確認ください。

\*ご来館の2週間前までに、FAXにてお申込ください。

東京国立博物館

TEL(03)3822-1111(代表) FAX(03)3822-3010  
e-mail edu@tnm.jp URL http://www.tnm.jp

